

会報 平成おやじの会

No.96

女子バレーボール部と交流試合

琴似中学校平成おやじの会恒例の女子バレーボール部との交流試合が12月14日(日)、琴似中体育館で開かれました。

全員で記念撮影



燃えました

成績

レギュラーチーム：チーム林 = 26 : 28
1年生チーム：チーム小野 = 20 : 25
レギュラーチーム：チーム林 = 20 : 25
1年生チーム：チーム小野 = 22 : 25
レギュラーチーム：選抜チーム = 23 : 25



■幹事さんから報告

琴中おやじの会 宮西さん

おやじの参加者は21名、2チームに分けました。女子レギュラーチームのうち1名は、札幌北選抜に選出されていて、今日は不参加でした。

1. チーム林 (男子チームの外部コーチです)

林・五十嵐・澤田 (元日本鋼管)・増本夫妻 (女子の札幌北選抜の選手の親)・伊藤 (山小ママさんバレー)・宮西の7名

2. チーム小野

小野・小林・野崎・岸田・赤平・種田・吉本・河合の8名

3. 選抜チームは澤田・岸田・赤平・小野・野崎・小林の6名。

4. 応援：中川・石田 写真：牛田・藤森 得点：若本



★おやじチームは、サーブレシーブに穴が出るも、林・澤田の手加減なしのブロックで、加点して接戦を無事に物にしました。本当に接戦で、皆さん汗だくでボールを追っていました。監督の高橋先生(北海道選抜の去年の監督です)も、おやじチームとの練習試合は、良い。他の学校のチームと練習試合より得るものが多いとお話されていました。ありがとうございます。私も1セット(第3ゲーム)出場して、いい汗を流しました。怪我も無く、澤田さんから女子チームにお言葉も頂きました。少し時間オーバーで終了しました。次回は、1月11日(日)9:00~11:30 男子バレーです。怪我の無いように、今から準備してください。2年生の札幌北選抜に選ばれている2人のスパイクは、半端ではありません。今日から、指立てでもして、鍛錬してください。では、次回また頑張りましょう!! ありがとうございます。

試合中、みんなを見ていて気が付いたことですが、ボールが動いている時は、足を止めないようにし、常に体を動かしてください。例えばサーブボールを後列右の選手が受けたとします。ほかの選手はボールの動きを顔だけで追っていないでしょうか。すぐに対応できるように、顔とともに体もボールの方を向こう。そうすれば次にどんなボールが来ても、対応が速くなります。この点に注意して頑張ってください。



女子バレーボール部と交流試合



主将 石田 彩夏さん
今回のおやじの会との交流では、たくさんさんの試合をさせていただきました。試合の中で、おやじの会のみなさんは、自分たちと変わらない動きや、鋭いスパイクを打ってきたり、場を和ませるようなプレーもあり、私たち全員が楽しかった、といえるような試合でした。ふだん体験することができないような交流であり、とても良い経験と機会でした。企画してくださったおやじの会のみなさん、参加してくださったみなさん、本当にありがとうございます。



■参加者の声

岸田 茂宏さん（OB 会員）

毎回のようバレー部との交流試合に参加していますが、年々自分とおやじ仲間の体力が衰えていくことをひしひしと感じさせられることが多くなってきました。年齢的にそろそろ応援団にと思っていたのですが、生徒と一緒に汗を流すことや、おやじ同士で楽しくボールを追うことでとても充実した時間を過ごすことができました。その想いが忘れられなく、体のあちこちが痛いのに関わらず、翌日にはまた来年1月の男子バレー部との交流試合に参加しようと思っています。そして次は来年の女子バレー部との交流試合に向け「おやじ」は体を鍛えるつもりです。がんばるぞー！メタボになんかなってられない！！

赤平 達也さん

3日間の筋肉痛からやっと開放されました。筋肉痛の原因は単純に自分はまだまだアラフォー世代と張り切ってバレーボールをしたせいですが、日頃鍛えていない体は運動当日よりも翌日、さらに翌々日と動くのが億劫になっていきました。それでも思い返せば、元気いっぱいな声の中で成長を感じさせる力強いスパイクやサーブをレシーブするたび、何とも言えない心地よさがあり、楽しい時間でした。

相手をしてくれた生徒の皆さんは身長差も省みずスパイクを打つおやじ達は面倒な相手だったと思いますが、結果を気にせず日々基本の反復練習にがんばってください。膝の青あざが治ったらまた「お願いしま〜す」。